

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19099	障害者総合相談支援センター事業	室名	地域福祉室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	会計	01:一般会計
	基本施策	05:障がい者の社会参加の促進	款	03:民生費
	施策の方向	01:障がい者の自立支援	項目	01:社会福祉費
戦略プロジェクト	-	目	02:障がい者福祉費	
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	障害者自立支援法	

② 目的・概要	対象	身体、知的、精神の障がい者(児童)及び家族
	目的	障がいのある人が地域で自立して暮らせることができるよう、障害者自立支援法に基づき身体、知的、精神の3障がいに関わる相談支援を行うため、障害者総合相談支援センターを設置する。
概要	障害者総合相談支援センターは、亀山市・鈴鹿市を1圏域として、3事業所に委託し、鈴鹿市に拠点となる相談支援センターを設置し、亀山市には常時2名の相談員を配置するサテライト(あいあい内)を設置し、総合相談支援事業を実施する。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	障害者総合相談支援センター事業委託		障害者総合相談支援センター事業委託	
	委託3法人 ・社会福祉法人 ジェイエイ三重会 ・社会福祉法人 和順会 ・社会福祉法人 けやき福祉会		委託3法人 ・社会福祉法人 ジェイエイ三重会 ・社会福祉法人 和順会 ・社会福祉法人 けやき福祉会	
	相談支援の内容 ・福祉サービスの利用等に関する支援 ・健康、医療に関する支援 ・就労に関する支援 など		相談支援の内容 ・福祉サービスの利用等に関する支援 ・健康、医療に関する支援 ・就労に関する支援 など	
	計画額	事業費	9,200千円	9,200千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源		9,200千円	9,200千円
	予算額	事業費	9,233千円	10,150千円
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源		9,233千円	10,150千円	
期間内総事業費(H27・H28)①		18,400千円	期間外事業費(H29以降)② -	
		総事業費 (①+②) -		

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	センター運営協議会開催回数		
	補足	地域自立支援協議会運営部会への開催回数	12	12
②	名称	相談実績報告会の開催回数		
	補足	月報提出時の担当者会議の開催回数	12	12
③	名称	相談件数(延べ)		
	補足	身体、知的、精神障がい者からの相談件数	2,500	2,550
④	名称			
	補足			

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19099	障害者総合相談支援センター事業	室名	地域福祉室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財 会計	01:一般会計
	基本施策	05:障がい者の社会参加の促進	務 款	03:民生費
施策体系	施策の方向	01:障がい者の自立支援	科 項	01:社会福祉費
	戦略プロジェクト	-	目 目	02:障がい者福祉費

② 目的・概要	対象	身体、知的、精神の障がい者(児童)及び家族
	目的	障がいのある人が地域で自立して暮らせることができるよう、障害者自立支援法に基づき身体、知的、精神の3障がいに関わる相談支援を行うため、障害者総合相談支援センターを設置する。
概要	障害者総合相談支援センターは、亀山市・鈴鹿市を1圏域として、3事業所に委託し、鈴鹿市に拠点となる相談支援センターを設置し、亀山市には常時2名の相談員を配置するサテライト(あいあい内)を設置し、総合相談支援事業を実施する。	

		27年度		28年度	
①	名称	センター運営協議会開催回数	計画値	12	12
	補足	地域自立支援協議会運営部会への開催回数	実績値	12	12
			単位	回	回
②	名称	相談実績報告会の開催回数	計画値	12	12
	補足	月報提出時の担当者会議の開催回数	実績値	6	12
			単位	回	回
③	名称	相談件数(延べ)	計画値	2500	2550
	補足	身体、知的、精神障がい者からの相談件数	実績値	2208	2539
			単位	件	件
④	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		

年度計画				年度実績					
障害者総合相談支援センター事業委託				障害者総合相談支援センター事業委託					
委託3法人 ・社会福祉法人 ジェイエイ三重会 ・社会福祉法人 和順会 ・社会福祉法人 けやき福祉会				委託3法人 ・社会福祉法人 ジェイエイみえ会 ・社会福祉法人 和順会 ・社会福祉法人 けやき福祉会					
相談支援の内容 ・福祉サービスの利用等に関する支援 ・健康、医療に関する支援 ・就労に関する支援 など				支援内容別による件数(主なもの) ・福祉サービスの利用等に関する支援 724件 ・障害や病状の理解に関する支援 250件 ・健康、医療に関する支援 260件 ・不安の解消、情緒安定に関する支援 599件 ・就労に関する支援 93件					
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	586	平均給与額×③	
		事業費	9,200	10,150		9,180	一般職員人件費 ②		586
		国庫支出金		0			所要人員 ③		0.08
		県支出金		0			臨時職員人件費 ④		0
		地方債		0		⑤	0		
		その他		0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		一般財源	9,200	10,150	9,180				
		再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額		0					
		総人件費		①	586				
	総コスト		⑥	9,766					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	障害者総合相談支援センターにおいて、障がい者の状況や相談内容に応じた必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うことにより、障がい者の自立につながる支援を行った。鈴鹿・亀山圏域の課題を明らかにして支援体制の充実や関係機関のネットワークの構築を図るため、圏域の地域自立支援協議会の専門部会等で検討を行った。	総合判定 <b>A</b> 順調に進んだ
	【反省点・課題】	障害者総合相談支援センターの相談件数は昨年度に比べて330件ほど増えた。障がい者の人数は年々増加傾向にあり、相談内容も困難なケースが多くなってきている。社会参加支援、自立生活支援、就労生活支援を重層的に組み合わせながらの支援が必須であり、障害者総合相談支援センターのますますの機能強化が必要となっている。また、指定特定相談事業所等による計画相談の利用も始まり、各相談支援専門員との連携を図りながら役割分担等を明確にし、支援体制を構築していく必要がある。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	障害者総合相談支援センターと医療・保健・福祉・教育及び就労等の関係機関と広域支援のネットワークを構築し、そのネットワークを強くしていくことで総合的な相談支援を行い、障がい者の自立につなげていく。困難事例等の解決に向けて、研修や事例検討を行い、相談員の支援の知識や支援力を高めるため、基幹相談支援センターの機能強化に努める。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切